

第13回恵比寿映像祭

Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions 2021

映像の気持ち

E-MOTION GRAPHICS

Friday, 2/5–Sunday, 2/21/2021 [15days / Closed Mondays]

令和3年2月5日(金)～2月21日(日)《15日間・月曜休館》

会場／東京都写真美術館、日仏会館、恵比寿ガーデンプレイス センター広場、地域連携各所 ほか

時間／10:00～20:00 ※最終日は18:00まで 入場／無料(事前予約制) ※定員制のプログラムは有料

TOP MUSEUM 東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



文化でつながる。未来とつながる。
THE FUTURE IS ART

TokyoTokyo
FESTIVAL

タイムテーブル Timetable

上映
Screening

シンポジウム
Symposium

ラウンジトーク
Lounge Talk

YEBIZO MEETS
トーク&ワークショップ
Talk & Workshop

OL
オンライン開催

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
2/5 (金)	展示 Exhibition 10:00-20:00									1 カワイオカムラ特集〈ムード・ホール〉と短編集 KAWAI+OKAMURA Special screening	
2/6 (土)	展示 Exhibition 10:00-20:00		a シシヤマザキ ShiShiYamazaki		b 渡辺豪 WATANABE Go		2 湯浅政明〈マインド・ゲーム〉 [35ミリフィルム上映] YUASA Masaaki, <i>Mind Game</i> [35mm film screening]		OL	5 オスカー・フィッシングアー、初期モーショングラフィクスと ヴィジュアル・ミュージック Oskar Fischinger, early Motion Graphics and Visual Music	
2/7 (日)	展示 Exhibition 10:00-20:00							A [恵比寿映像祭×NTTインターコミュニケーション・センター [ICC] 共同企画 (オンライン)] 映像とともにあること——未来へのアーカイヴ With Images: Media Archive to the Future		3 ヴィンセント・ボーイ・カース〈ドラマ・ガール〉 Vincent Boy KARS, <i>Drama Girl</i>	
2/9 (火)	展示 Exhibition 10:00-20:00						6 新千歳空港国際アニメーション映画祭① New Chitose Airport International Animation Festival①			7 新千歳空港国際アニメーション映画祭② New Chitose Airport International Animation Festival②	
2/10 (水)	展示 Exhibition 10:00-20:00		c 赤松正行 AKAMATSU Masayuki					解説 山田亜樹 (P) YAMADA Aki (P) オダアマネ (D) ODA Amāne (D) 児玉徹郎 (D) KODAMA, Tetsuro (D)		B [日仏共催] 映画と人—危機のなかの映画 Cinema and people: Cinema in Crisis	OL
2/11 (木・祝)	展示 Exhibition 10:00-20:00				d [地域連携プログラム/アートフロントギャラリー] 大岩オスカル / 小野リサ OIWA Oscar / ONO Lisa		8 DigiCon6 ASIA DigiCon6 ASIA			5 オスカー・フィッシングアー、初期モーショングラフィクスと ヴィジュアル・ミュージック Oskar Fischinger, early Motion Graphics and Visual Music	
2/12 (金)	展示 Exhibition 10:00-20:00							OL		3 ヴィンセント・ボーイ・カース〈ドラマ・ガール〉 Vincent Boy KARS, <i>Drama Girl</i>	
2/13 (土)	展示 Exhibition 10:00-20:00			10 モノグラフ2020— アジア・エッセイ映画特集② Monographs 2020: Essays on asian cinema②			4 揺動PROJECTS [日本現代作家特集] YODO PROJECTS [Films by Contemporary Japanese Artists]			9 モノグラフ2020— アジア・エッセイ映画特集① Monographs 2020: Essays on asian cinema①	
2/14 (日)	展示 Exhibition 10:00-20:00			9 モノグラフ2020— アジア・エッセイ映画特集① Monographs 2020: Essays on asian cinema①			10 モノグラフ2020— アジア・エッセイ映画特集② Monographs 2020: Essays on asian cinema②			6 新千歳空港国際アニメーション映画祭① New Chitose Airport International Animation Festival①	解説 土居伸彰 (P) DOI Nobuaki (P)
2/16 (火)	展示 Exhibition 10:00-20:00						8 DigiCon6 ASIA DigiCon6 ASIA			3 ヴィンセント・ボーイ・カース〈ドラマ・ガール〉 Vincent Boy KARS, <i>Drama Girl</i>	
2/17 (水)	展示 Exhibition 10:00-20:00						1 カワイオカムラ特集〈ムード・ホール〉と短編集 KAWAI+OKAMURA Special screening			9 モノグラフ2020— アジア・エッセイ映画特集① Monographs 2020: Essays on asian cinema①	
2/18 (木)	展示 Exhibition 10:00-20:00							OL			OL
2/19 (金)	展示 Exhibition 10:00-20:00			1 カワイオカムラ特集〈ムード・ホール〉と短編集 KAWAI+OKAMURA Special screening						2 湯浅政明〈マインド・ゲーム〉 [35ミリフィルム上映] YUASA Masaaki, <i>Mind Game</i> [35mm film screening]	
2/20 (土)	展示 Exhibition 10:00-20:00		e 松本力 / VOQ (本多裕史) MATSUMOTO Chikara / VOQ (KONDA Hiroshi)		f カワイオカムラ KAWAI+OKAMURA		8 DigiCon6 ASIA DigiCon6 ASIA			解説 カワイオカムラ (D) KAWAI+OKAMURA (D)	1 カワイオカムラ特集〈ムード・ホール〉と短編集 KAWAI+OKAMURA Special screening
2/21 (日)	展示 Exhibition 10:00-18:00			解説 土居伸彰 (P) DOI Nobuaki (P)			5 オスカー・フィッシングアー、初期モーショングラフィクスと ヴィジュアル・ミュージック Oskar Fischinger, early Motion Graphics and Visual Music				

※上映の終了時間は、プログラムごとに異なります。

1

MFJ

T.M.F.J

Association
TENDANCES ET MEDIAS

日 仏 会 館

映像と講演
映画と文学 VIII 感動が生まれるところ
——文学と映画、そして『女の一生』

日時：令和3年2月19日（金）18:30～
会場：日仏会館ホール／東京都渋谷区恵比寿3-9-25
入場：一般1,000円、学生500円 ＊要事前申込
TEL：03-5424-1141
主催：（公財）日仏会館、
T M F 日 仏 メ デ ィ ア 交 流 協 会

www.mfjtokyo.or.jp

2

YEBISU
GARDEN
CINEMA

UNITED CINEMAS

恵比寿
ガーデン
プレイス
Yebisu
Garden Place

『わたしの叔父さん』

日時：令和3年1月29日（金）より公開
会場：YEBISU GARDEN CINEMA／東京都渋谷区
恵比寿4-20-2 恵比寿ガーデンプレイス内
入場：一般1,800円、大学生1,500円、シニア（60歳以上）1,200円、
高校生以下1,000円
TEL：0570-783-715

www.unitedcinemas.jp/yebisu

3

MA2 Gallery

映像の気持ち — E-MOTION GRAPHICS
小瀬村真美 × 三宅砂織

日時：令和3年2月4日（木）～2月27日（土）12:00～19:00
会場：MA2 Gallery／東京都渋谷区恵比寿3-3-8
入場：無料
休日：日／月曜日／祝日
TEL：03-3444-1133

www.ma2gallery.com

4

MuCuL

「水ゆら」佐藤慶子

日時：令和3年2月5日（金）～2月21日（日）13:30～18:30
会場：MuCuL ミュウカル／東京都渋谷区恵比寿2-21-3
（ギャラリー工房親裏）
入場：無料
休日：月／火曜日
TEL：03-3446-2618

www.e-mucul.com

5

NADiff

a/p/a/r/t

かじおかみほ
Do you open your eyes in the sea?
海の中で目を開けますか？

日時：令和3年2月5日（金）～2月28日（日）13:00～19:00
会場：NADiff Gallery／東京都渋谷区
恵比寿1-18-4 NADiff A/P/A/R/T B1F
入場：無料
休日：月／火／水曜日
TEL：03-3446-4977

www.nadiff.com

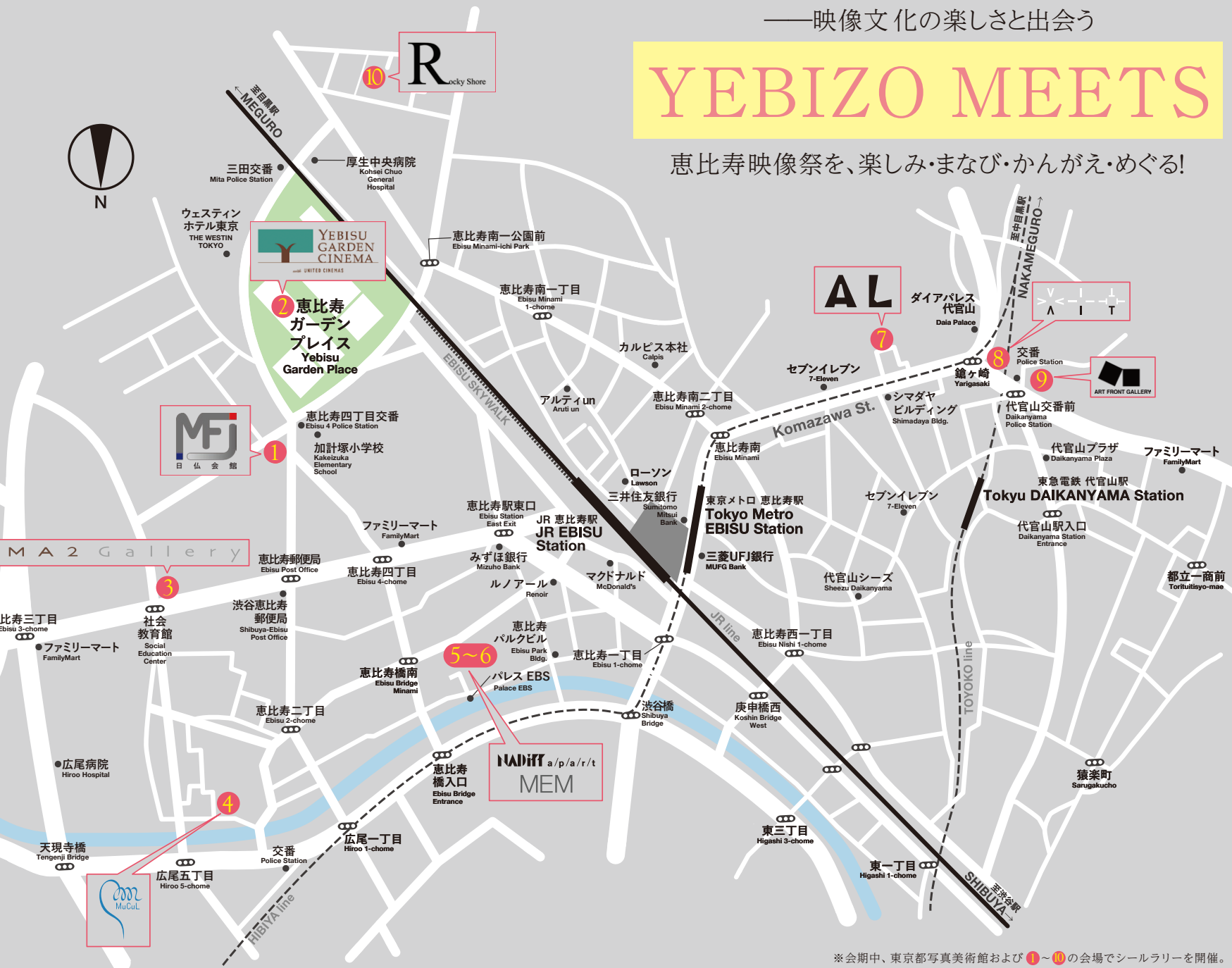
6

MEM

網膜反転侵犯
小松浩子 × 立川清志楼

日時：令和3年2月4日（木）～2月21日（日）12:00～20:00
会場：MEM／東京都渋谷区恵比寿1-18-4 NADiff A/P/A/R/T 3F
入場：無料（上映会は別途有料）
休日：月曜日（祝日の場合はその翌日）
TEL：03-6459-3205

www.mem-inc.jp



※会期中、東京都写真美術館および①～⑩の会場でシールラリーを開催。

——映像文化の楽しさと出会う

YEBIZO MEETS

恵比寿映像祭を、楽しみ・まなび・かんがえ・めぐる！

YEBIZO MEETS
オンライン・トーク On-Line Talk  オンライン開催 On-Line Free on-line viewing ＊The viewing link will be announced on the official website etc. ＊Available only in Japanese

I

アナログ手法とデジタル技術を組み合わせた
ネオクラフトアニメーションから、
新世代のアニメーションを考える。

日時：令和3年2月11日（木・祝）10:30～12:00
講師：伊藤有彦[アニメーションディレクター]、見里朝希[映像作家]
司会：山田亜樹[DigiCon6 ASIAディレクター]

II

アートと商業のあいだを行き交い、時代に捉われない
独自の表現手法を模索するモーション・アニメーション、
主宰者に聞く。アニメーション表現の現在を考える。

日時：令和3年2月12日（金）15:00～16:30
講師：細金卓矢（mimoid.inc:映像ディレクター／プランナー）、
山田遼志（mimoid.inc:アーティスト）、別所梢（mimoid.inc:プロデューサー）
司会：フィルムアート社

III

C GやARなどのデジタルテクノロジーを駆使し、
リアルタイム映像合成によって表現される舞台。
その制作過程に迫る。

日時：令和3年2月18日（木）15:00～16:30
講師：タグチヒトシ（GRINDER-MAN）、
真壁成尚（ビジュアルデザインスタジオ・WOW）

IV

フェスティバル連携 | コラボレーショントーク Festivals Networking Project

「それぞれのトランスフォーメーション」
——Media Art in TOKYO: エリアを超えて、4つのメディアアートフェスティバルが連携。
それぞれの「トランスフォーメーション」を軸に、フェスティバルの今と未来を考える。デジタルによって、何を変容させられるか？

日時：令和3年2月18日（木）18:30～20:00
登壇者：谷川じゅんじ[Media Ambition Tokyo | スペースコンポーザー]、JTQ Inc.CEO、一般社団法人Media Ambition Tokyo 代表理事|サンソン・シルヴァン[デジタル・ショック | フランス大使館 文化担当官／アンスティチュ・フランセ日本 芸術部門 統括マネージャー]／
藤谷菜未[未来の学校 | 東京ミッドタウンマネジメント株式会社／イベントプロデューサー]／久納鏡子[未来の学校 | Ars Electronica Futurelab, アーティスト、キーリサチャー]／田坂博子[第13回恵比寿映像祭 | キュレーター]

フェスティバル連携は、アートとメディアのイベントである「恵比寿映像祭」「未来の学校祭」「DIGITAL CHOC」「MEDIA AMBITION TOKYO」が連携し、開催エリアやイベントの枠組みを超えて東京のメディアアートシーンの活性化について考える仕組みです。
※今年は、他の3つのフェスティバルは事業休止となったため、恵比寿映像祭でトークセッションを行います。

Emotional Rescue — 池田光宏 高田冬彦
ウィスット・ポンニミット

日時：令和3年2月5日（金）～2月14日（日）11:00～19:00（最終日は17:00まで）
会場：AL／東京都渋谷区恵比寿南3-7-17
入場：無料（イベントは別途有料、オンラインは投げ銭制）
企画：住吉智恵[TRAUMARIS]
TEL：03-5722-9799

www.al-tokyo.jp

8

Λ

I

T

OL

「アクティビズムとしての写真表現
—— ザネレ・ムホリを紐解く」

日時：令和3年2月13日（土）19:00～20:30
会場：＊オンライン（ZOOM）＊要事前申込
入場：1,100円 ＊参加費の一部はLGBTQIA+コミュニティ支援に
寄付されます
TEL：03-5489-7277

www.a-i-t.net

9

ART FRONT GALLERY

大岩オスカー — 隔離生活

日時：令和3年2月5日（金）～3月7日（日）
水／木／金 12:00～19:00 土／日 11:00～17:00
会場：アートフロントギャラリー／東京都渋谷区猿楽町29-18
ビルサイドテラス A棟1F
入場：無料
休日：月／火曜日
TEL：03-3476-4869

www.artfrontgallery.com

10

Rocky Shore

祈りと瞑想 — 内海昭子、オラワン・アルンラク、
シリル・ポルシェ、セバスティアン・ルセニエ、
トラン・ミン・ドゥック、松下沙織

日時：令和3年1月30日（土）～3月27日（土）13:00～18:00
会場：Rocky Shore／東京都目黒区三田2-7-7 エステート三田105
入場：無料
休日：日／月／火曜日
TEL：070-2663-5063

www.rockyshore.tokyo

「映像の気持ち」をめぐる シールラリー

会期中、東京都写真美術館
および①～⑩の会場で
シールラリーを開催。
3カ所のシールを集めると、
ステキな記念品を
プレゼントします。
詳細は公式ウェブサイトを
ご覧ください。

映像の気持ち E-MOTION GRAPHICS

展示Exhibition

東京都写真美術館 3F・2F・B1F展示室
TOP Museum 3F/2F/B1F

2Fロビー
2F Lobby

MAP

A

C

入場無料
Admission: Free

東京都写真美術館 1Fホール
TOP Museum 1F Hall

MAP

B

上映：前売 550円／当日 1,100円
Screenings: ¥550 (adv.) ¥1,100(door.)



ペトラ・コートライト Petra CORTRIGHT／リュミエール兄弟 (オーギュスト・リュミエール&ルイ・リュミエール) The LUMIÈRE Brothers (Auguste and Louis LUMIÈRE)／エミール・コール Émile COHL／松本力 MATSUMOTO Chikara／マックス・フライシャー Max FLEISCHER／シヤマザキ ShiShiYAMAZAKI／チャンヨンヘ重工業 YOUNG-HAE CHANG HEAVY INDUSTRIES／スタン・ヴァンダービーク Stan VANDERBEEK／赤松正行 +ARARTプロジェクト AKAMATSU Masayuki+ARART Project／トニー・アウスラー Tony OURSLER／筑波大学ヒューマンエンジェントインタラクション研究室 (後藤豪臣、大澤博隆) Human-Agent Interaction Laboratory, University of Tsukuba (GOTO Takeomi, OSAWA Hirotaka)／渡辺豪 WATANABE Go／ジェームズ・ホイットニー James WHITNEY／ジョン・ホイットニー John WHITNEY／木本圭子 KIMOTO Keiko／藤堂高行 TODO Takayuki／チョ・ヨンガク CHO Youngkak／KEIKEN／カワイオカムラ KAWAI+OKAMURA

1	3	4	5
2		6	7
8	9	10	
11	12	13	14

1. リュミエール兄弟 (オーギュスト・リュミエール&ルイ・リュミエール) 《リュミエール社作品集》1895年頃／東京都写真美術館蔵
The Lumière Brothers (Auguste and Louis Lumière), *Lumière Film Works*, c. 1895／Collection of Tokyo Photographic Art Museum
2. ペトラ・コートライト《sssss》2011年
Petra Cortright, *sssss* 2011
3. 松本力《宇宙登山》原画、2006年
Matsumoto Chikara, Original drawing for *Climbing Universe*, 2006
4. エミール・コール《ファンタスマゴリー》1908年／東京都写真美術館蔵
Émile Cohl, *Fantasmagorie*, 1908／Collection of Tokyo Photographic Art Museum
5. チョ・ヨンガク《道路は流星のように》2019年 [参考図版]
Cho Youngkak, *Highway like a shooting star*, 2019 [related image]
6. トニー・アウスラー《1, 2, 3》1996年／東京都現代美術館蔵
Tony Oursler, *1, 2, 3*, 1996
Collection of the Museum of Contemporary Art, Tokyo
7. ジェームズ・ホイットニー《Lapis》1966年
James Whitney, *Lapis*, 1966
©The artist and Whitney Editions™, Los Angeles, CA
8. カワイオカムラ《ムード・ホール》2019年 [参考図版]
Kawai+Okamura, *Mood Hall*, 2019 [related image]
9. 渡辺豪《Aevum》2009-2012年 タグチ・アート・コレクション蔵
Watanabe Go, *Aevum*, 2009-2012／Collection of the Taguchi Art Collection ©Go Watanabe, Courtesy of ANOMALY
10. 赤松正行+ARARTプロジェクト《ウロボロスのトーチ》2012年
Akamatsu Masayuki+ARART Project, *Uroboros Torch*, 2012
11. 木本圭子《Imaginary・Numbers 2006》2006年
Kimoto Keiko, *Imaginary・Numbers 2006*, 2006
12. Keiken《拡張されたメークアップ講座》2020年 [参考図版]
委嘱: FACT Liverpool
Keiken, *Augmented Makeup tutorial*, 2020
Commissioned by FACT Liverpool.
Supported using public funding by Arts Council England and funded by Liverpool City Council.
13. シヤマザキ《とにかくなにかを始めたよ》2020年
ShiShiYamazaki, *Let's Just Get It Started*, 2020
14. チャンヨンヘ重工業《ソウ ソウルフル》2006年／東京都写真美術館蔵
Young-hae Chang Heavy Industries, *SO SO SOULFUL*, 2006／Collection of Tokyo Photographic Art Museum

ラウンジトーク Lounge Talks

- a

シシヤマザキ [展示出品作家]
ShiShiYAMAZAKI [Artist]
2.6 (土 Sat.) 11:00-12:00
- b

渡辺豪 [展示出品作家]
WATANABE Go [Artist]
2.6 (土 Sat.) 13:00-14:00
- c

赤松正行 [展示出品作家]
AKAMATSU Masayuki [Artist]
2.10 (水 Wed.) 11:00-12:00
- d

[地域連携プログラム: アートフロント
ギャラリー 旅に出よう! ニューヨー
クー東京-サンパウロ]
大岩オスカル [アーティスト]／
小野リサ [ボサノヴァ歌手]／前田礼 [公
会]／アートフロントギャラリー]
OIWA Oscar [Artist]／
ONO Lisa [Bossa nova singer]／
MAEDA Rei [Moderator]／
Art Front Gallery]
2.11 (木・祝 Thu.) 13:00-14:00

視聴無料
※視聴リンクについては、別途公式ウェブ
サイト等で告知します。
Free on-line viewing
※The viewing link will be announced on
the official website etc. ※Available only in
Japanese

※内容は予告なく変更することがあります。
Works and programs are subject to change.

映像(動画)は、21世紀の都市生活のいたるところにあふれています。明滅する光に過ぎない映像を前に、わたしたちは、笑ったり、泣いたり、驚いたり、怒りや欲望を喚起されたり、触れられないものや行くことができない場所へ思いをはせたり…と気持ちを動かされています。さらに世界的なパンデミックを契機に、物理的な移動や直接的な交流の代替手段のひとつとして、動画配信や映像を介した遠隔コミュニケーションの普及が加速し、映像との付き合い方はさらに拡がりを見せています。
第13回恵比寿映像祭では、見る人の感情を動かす映像の力に着目し、あらたな、「動画」であるということ、について考えます。さまざまな工夫による動画表現の歴史を参照しつつ、あたりまえのように映像とともに生きる現在を見つめ直す機会をつくります。

上映 Screenings

1. カワイオカムラ特集—最新作《ムード・ホール》と短編集 2004-2019
KAWAI+OKAMURA Special screening: *Mood Hall* & short films 2004-2019

■《ムード・ホール》
Mood Hall / 2019 / 33分33秒 (音楽:原摩利彦)
□《AIRS》
AIRS / 2005 / 8分30秒 / 日本語 (英語字幕付) Dialogue in Japanese (with English subtitles)
□《ヘコヒョン・ナイン -2009再編集版-》
Ficfyon Nine -Remix 2009, 2009 / 5分45秒 (音楽:原摩利彦)
□《コロンボス》
Columbos / 2012 / 9分15秒 (音楽:原摩利彦)
□《ヘコヒョン7》
Ficfyon7 / 2004 / 3分52秒 / 日本語 (英語字幕付) Dialogue in Japanese (with English subtitles)
※ 幕間にカワイオカムラ監督による解説映像 (計12分)

2. 湯浅政明《マインド・ゲーム》 [35ミリフィルム上映]
YUASA Masaaki, *Mind Game* [35mm film screening]

■《マインド・ゲーム》
Mind Game / 2004 / 103分 / 日本語 Dialogue in Japanese
©2004 MIND GAME Project

3. ヴァンセント・ボーイ・カース《ドラマ・ガール》—現実とフィクションの間
Vincent Boy KARS, *Drama Girl*

■《ドラマ・ガール》
Drama Girl / 2020 / 93分 / オランダ語 (日本語・英語字幕付) Dialogue in Dutch (with Japanese and English subtitles)
製作 HALAL Produced by HALAL
© Halal

4. 揺動PROJECTS: Retouch Me Not [日本現代作家特集]
YODO PROJECTS: Retouch Me Not [Films by Contemporary Japanese Artists]

□ 荒木悠 《The Last Ball (Single-channel version)》
Yu ARAKI, *The Last Ball (Single-channel version)* / 2021 / 14分 / 日本語 (英語字幕付) Dialogue in Japanese (with English subtitles)
□ 内山にか 《Bright beyond hearing》
Monika UCHIYAMA, *Bright beyond hearing* / 2017 / 4分20秒 / 日本語 (英語字幕付) Dialogue in Japanese (with English subtitles) (ほか)
■ 釘宮由衣 《Before It Will Burn Out》
Yui KUGIMIYA, *Before It Will Burn Out* / 2009 / 29秒 (ほか)
■ 現時点プロジェクト 《私はおぼえている: 長田はつ子さんと海女の記憶》
Genjiten Project, *I remember: Memories of Hatsuoka Nagata and female divers* / 2019 / 23分 / 日本語 Dialogue in Japanese
□ 佐々木友輔 《Implication(Sado)》

5. SASAKI Yusuke, *Implication(Sado)* / 2021 / 20分 / 日本語 Dialogue in Japanese
□ 外島寛幸 《術語》
TOSHIMA Takayuki, *Predicate/Postoperatively* / 2015-2020 / 6分25秒 / 日本語 Dialogue in Japanese
□ 百瀬文 《The Interview about Grandmothers》
MOMOSE Aya, *The Interview about Grandmothers* / 2012-2016 / 7分14秒 / 日本語 (英語字幕付) Dialogue in Japanese (with English subtitles)
□ 門真妙、佐々木友輔 《ねおれありきも》
MONMA Tae, SASAKI Yusuke, *Neorealismo* / 2021 / 6分 / 日本語 Dialogue in Japanese
ゲスト・プログラマー: 佐々木友輔+荒木悠
Guest programmers: SASAKI Yusuke + Yu ARAKI

6. 新千歳空港国際アニメーション映画祭 短編集①—アニメーションの自然 nature を探る
New Chitose Airport International Animation Festival Shorts①: Exploring Nature in Animation

■ ステファン・アーウィン 《ウッド・チャイルド・アンド・ヒドゥン・フォレスト・マザー》
Stephen IRWIN, *Wood Child & Hidden Forest Mother* / 2020 / 9分34秒
□ 陳燕 《ニュー・ファンチャー・オブ・リトル・スワロー》

7. Xi CHEN, *New Furniture of Little Swallow* / 2020 / 2分3秒
□ ジェームズ・モリー 《ブラック・シブ・ボーイ》
James MOLLE, *Black Sheep Boy* / 2019 / 14分57秒 / 日本語・英語字幕付 with Japanese and English subtitles
□ トータル・リフューザル 《ハウ・トゥ・ディザスター》
TOTAL REFUSAL, *How to Disappear* / 2020 / 21分6秒 英語 (日本語字幕付) Dialogue in English (with Japanese subtitles)
□ ジェイク・フライド 《ザ・ブランク・ページ》
Jake FRIED, *The Blank Page* / 2019 / 1分
□ ビョル・ドゥマラ 《ラスト・サバー》
Piotr DUMALA, *Last Supper* / 2019 / 13分
□ ドミトリー・ゲラー 《ミストレス・オブ・コッパー・マウンテン》
Dmitry GELLER, *The Mistress of the Copper Mountain* / 2020 / 13分33秒 / ロシア語 (日本語・英語字幕付) Dialogue in Russian (with Japanese and English subtitles)
□ キリル・ハイチャイチェロフ 《ネイキッド》
Kirill KHACHATUROV, *Naked* / 2019 / 14分40秒 / ロシア語 (日本語・英語字幕付) Dialogue in Russian (with Japanese and English subtitles)

8. リンク: 新千歳空港国際アニメーション映画祭 ゲスト・プログラマー: 土居伸彰、小野朋子
Link: New Chitose Airport International Animation Festival Guest programmers: DOI Nobuaki and ONO Tomoko

9. モノグラフ2020—アジア・エッセイ映画特集①—モチーフ
Monographs 2020: Essays on Asian Cinema① Motifs

■ リアル・リザルディ 《ゴースト・ライク・アス》
Rial RIZALDI, *Ghost Like Us* / 2020 / 20分2秒 / インドネシア語・英語 (日本語・英語字幕付) Dialogue in Bahasa Indonesia & English (with Japanese and English subtitles)
□ チェオン・ミン・クイ 《デス・オブ・リルジャー》
TRUONG Minh Quy, *Death of Soldier* / 2020 / 13分57秒 / 베트남語 (日本語・英語字幕付) Dialogue in Vietnamese (with Japanese and English subtitles)
□ クラッシュ・バドワール & レヌ・サヴァント 《ブレイヴ・レヴォリューション・シナリオ・リダグド》
Kush BADHWAR & Renu SAVANT, *Brave Revolutionary Realubod* / 2020 / 20分 / 英語・ヒンディー語 (日本語・英語字幕付) Dialogue in English and Hindi (with Japanese and English subtitles)
□ マリヤム・タファコリー 《イライニ・バグ》
Maryam TAFAKORY, *Irani Bag* / 2020 / 7分38秒 / 日本語・英語字幕付 No Dialogue (with Japanese and English subtitles)
□ マヤ・コルベッカ 《セイヴド・バイ・ザ・バーティステイト》
Maja KORBECKA, *Saved by the Party-state* / 2020 / 15分26秒 / 北京語・英語 (日本語・英語字幕付) Mandarin and English (with Japanese and English subtitles)
□ サオダット・イズミロバ 《ハー・ファイ・ウ・ライヴス》
Soodat ISMAILOVA, *Her Five Lives* / 2020 / 13分14秒 ※ 本プロジェクト・ゲスト・コンサルタント: ケヴィン・B・リー、メー・アーダーン・インカワニット
Guest consultant of the project: Kevin B. LEE, May Adadol INGAWANI
リンク / ゲスト・プログラマー: アジア・フィルム・アーカイブ (シンガポール)
Link / Guest programmer: Asian Film Archive (Singapore)

10. モノグラフ2020—アジア・エッセイ映画特集②—メメント
Monographs 2020: Essays on Asian Cinema② Moments

□ バム・ウィラダー 《キャスト・オブ・ア・スベル・トゥ・オルター・リアリティ》
Pam VIRADDA, *CASTING a Spell to Alter Reality* / 2020 / 13分44秒 / 英語、北京語、客家 (日本語・英語字幕付) Dialogue in English, Mandarin and Hakka (with Japanese and English subtitles)
□ ラヤ・マーティン 《スピリット・フィルム》
Raya MARTIN, *SPIRIT FILM* / 2020 / 19分41秒 / 日本語・英語字幕付 No Dialogue (with Japanese and English subtitles)
□ マウグ・オッカー 《レミニセンス》
Maung Okkar, *Reminiscences* / 2020 / 14分47秒 / ミャンマー語 (日本語・英語字幕付) Burmese (with Japanese and English subtitles)
■ アーノン・ンヤオ 《A Weirdo Never Fever Overly》
Arnont NONGYAO, *A Weirdo Never Fever Overly* / 2020 / 14分8秒 / 日本語・英語字幕付 No Dialogue (with Japanese and English subtitles)
※ 本プロジェクト・ゲスト・コンサルタント: ケヴィン・B・リー、メー・アーダーン・インカワニット
Guest consultant of the project: Kevin B. LEE, May Adadol INGAWANI
リンク / ゲスト・プログラマー: アジア・フィルム・アーカイブ (シンガポール)
Link / Guest programmer: Asian Film Archive (Singapore)

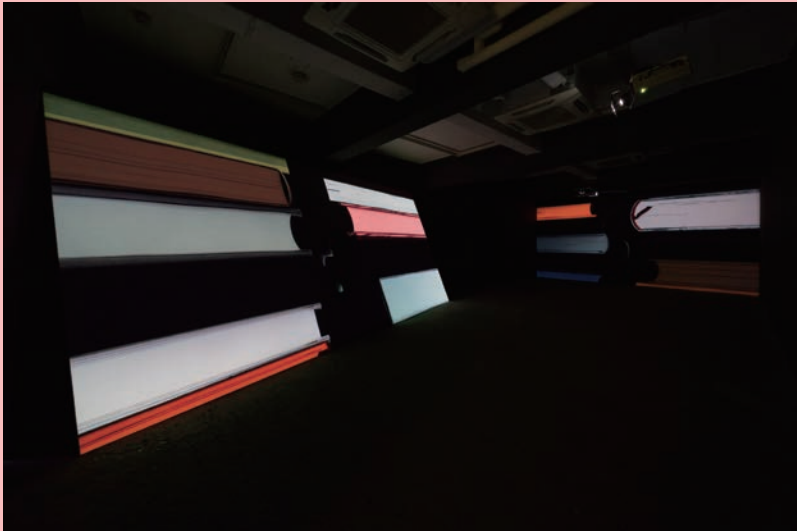
※ このプログラムのいくつかの作品には、一部の視聴者が不快に感じるおそれのある利権的な部分を含む可能性があります。
Some films in this program may contain graphic images that some viewers may find disturbing.

Life in the 21st century city is saturated by moving imagery. These images, which are nothing more than flickers of light, can evoke laughter, tears, and gasps of surprise, arouse desire and anger, and allude to intangible things and unvisitable places. And now, as a global pandemic accelerates the spread of remote communication as an alternative to physical travel and direct interaction, the relationship we have with the moving image is increasingly multifaceted. The 13th Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions will focus on motion graphics and their ability to evoke emotion in the viewer. Referencing the ingenuity and creativity of some of the historical precursors of video expression, it aims to provide an opportunity to reimagine both modern existence and the images we take for granted.

展示 Exhibition

日仏会館ギャラリー
Gallery of the Maison franco-japonaise

MAP  入場無料
Admission: Free



渡辺豪「積み上げられた本」2019-2020[参考図版]「停滯フィールド」展(トーキョーアーツアンドスペース本郷、2020)より 撮影:加藤健 画像提供:Tokyo Arts and Space 協力:ANOMALY
WATANABE Go, *the towers (lights are books)*, 2019-2020[related image]/ From "Stasis Field" (Tokyo Arts and Space, Hongo, 2020) Photo: Ken Kato Photo courtesy: Tokyo Arts and Space
Courtesy: ANOMALY

シンポジウム Symposium

 オンライン開催
On-line



恵比寿映像祭
Yebisu International Festival for
Art & Alternative Visions

A. [恵比寿映像祭×NTTインターコミュニケーション・センター [ICC] 共同企画]
映像とともにあること——未来へのアーカイヴ

[In Collaboration with NTT InterCommunication Center [ICC]] With Images: Media Archive to the Future

NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]との共同でオンライン開催するシンポジウム。

映像のあり方が、さまざまな次元で新たな掘りを見せているなか、映像とは何かについて考察を重ねてきた恵比寿映像祭の実践を振り返りつつ、あえて動画に焦点をあてた「映像の気持ち」というテーマに託された問いを論じる。さらに、フェスティバルや展覧会、パフォーマンスのイベント等、一過性の出来事を文化としていかに遺し継承していくのか。映像記録とアーカイブの方法について、異なる組織のキュレーターが、映像の残し方・生かし方に関わる具体的事例を共有しながら考える。

構成：第1部：映像との出会い方・付き合い方／第2部：映像の残し方・生かし方

日時:令和3年2月7日(日)16:00-18:00
パネリスト:近藤健一(森美術館シニア・キュレーター)／畠中実、指吸保子
(NTTインターコミュニケーション・センター[ICC])／岡村恵子、田坂博子(恵比
寿映像祭／東京都写真美術館)

Date: 2021.2.7 Sun. 16:00-18:00
Panelists: KONDO Kenichi (Senior Curator, Mori Art Museum), HATANAKA Minoru, YUBISUI Yasuko (NTT InterCommunication Center [ICC]) / OKAMURA Keiko, TASAKA Hiroko(Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions / Tokyo Photographic Art Museum)
Free on-line viewing

視聴無料 ※視聴リンクについては、別途公式ウェブサイト等で告知します。
 *The viewing link will be announced on the official website etc. *Available only in Japanese

B. [日仏会館共催企画]映画と人——危機のなかの映画

[Co-organized by the Maison franco-japonaise] Cinema and People: Cinema in Crisis

2020年の新型コロナウイルスの感染拡大によって、人々の生活そのものが一変するなか、文化事業のあり方も大きな困難に直面している。映画館、美術館などの文化機関のなかでも特に“小規模映画館（ミニシアター）”は、存続の危機に晒されている。このような状況下で、幅広い映画人たちによって結成されたSAVE the CINEMAなどが立ち上がり、様々な取り組みを行ってきている。人から人へ伝えられてきた映画文化の継承を、危機的な状況でどのように乗り越えていくのか、日本、フランスの取り組みを紹介し、現在をみつめることで、未来への可能性を議論する。

日時: 令和3年2月10日(水) 18:00-20:00
パネリスト: 諏訪敦彦(映画監督、東京藝術大学教授)
クレモン・ロジェ(パリ日本文化会館映画プログラマー)
司会/モデレーター: 澤田直(フランス哲学・文学者、立教大学教授、日仏会館常務理事)
田坂博子(恵比寿映像祭キュレーター、東京都写真美術館学芸員)
日仏逐次通訳付
Cinema and People: Cinema in Crisis
[Co-organized by the Maison franco-japonaise]

Date: 2021.2.10 Wed. 18:00–20:00
 Panelists:
 SUWA Nobuhiro (Film Director/Professor, Tokyo University of the Arts)
 Clément RAUGER (Film programmer, Japanese House Culture in Paris)
 Presenter/Moderator: SAWADA Nao (French Philosopher, French Literature
 Scholar/Professor, Rikkyo University/Executive Director/President of Cultural
 Activities Committee of the Maison franco-japonaise) and TASAKA Hiroko
 (Curator, Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions/Tokyo
 Photographic Art Museum) with Japanese French consecutive interpretation

視聴無料 ※視聴リンクについては、別途公式ウェブサイト等で告知します。
Free on-line viewing
*The viewing link will be announced on the official website etc.



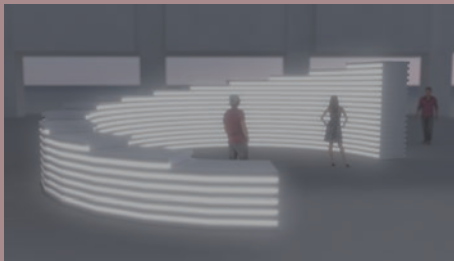
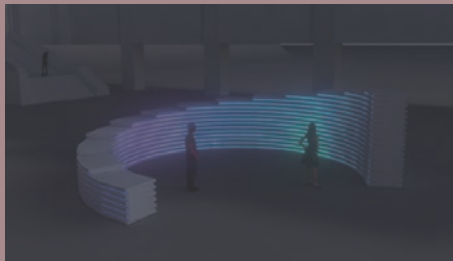
（ ） 恵比寿映像祭 Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions

オフサイト展示 Off-site Project

恵比寿映像祭とは？

恵比寿映像祭は、平成21(2009)年の第1回開催以来、年に一度恵比寿の地で、展示、上映、ライブパフォーマンス、トークセッションなどを複合的かつ、領域横断的に紹介する映像とアートの国際フェスティバルです。映像分野における創造活動の活性化と、映像表現やメディアの発展をまにこ育み、継承していくかという課題について広く共有する場となることを目指してきました。第13回開催となる今回は、「動画」であるということに、焦点をあて、歴史的な作品も参照しながら、映像の楽しみ方を広げるテーマをかかげました。これまでに培った地域とのつながりや国際的なネットワークを支えに、さらなる充実と発展をはかります。

※諸般の事情により中止となりました。ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。



WOW《モーション・モダリティ 溶けた映像のモニュメント》2021
WOW, *Monument of melted motion modality*, 2021

WOW《モーション・モダリティ 溶けた映像のモニュメント》2021 [参考図版]
WOW, *Monument of melted motion modality*, 2021 [related image]

日常のそこそこに映像があふかえる現代。明滅する光で人々の関心を喚起し、声高に情報を訴える映像が多いなか、公共空間における映像のあり方を模索しました。溶けた映像は、自由な形となって空間／物質に馴染み、光の反射と影が柔らかに混ざり合っていくなかで、環境の一部になるかのような佇まいを持ちます。四角い平面な映像から、自由な形の映像へ。強く発光し目に直接入る映像から、物質を介して光が回り込む柔らかな映像へ。高解像度の鮮明な映像から、解像度に依存しない曖昧な映像へ。

刻々と移り変わる夕暮れの雰囲気や、雲の状態、夏の揺れる木漏れ日など、自然現象に似た様相をこのモニュメントは創り出します。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ご来場のお客さまに下記事項をお願いします。

○マスク着用/体温測定/手指消毒/37.5℃以上の発熱が確認された方・マスク着用されていない方の入館をご遠慮/咳エチケット/来館時記録/こまめな手洗い・アルコール手指消毒/入場制限/ソーシャルディスタンス/会話の抑制(小声)など感染拡大防止の協力をお願い致します。

また、

- ①発熱、咳、咽頭痛などの症状がある方
 - ②新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した方との濃厚接触があった方
 - ③同居家族や身近な知人の感染が疑われる方
 - ④過去14日間以内に政府が入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航並びに当該国・地域の在住者との濃厚接触があった方の方
- ご来館はお控え願います。その他、詳細な内容は、東京都写真美術館及び恵比寿映像祭公式サイトをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症拡大状況によって、内容を変更する場合があります。ご来場前に必ず、恵比寿映像祭公式サイト(www.yebizo.com)をご確認ください。
Depending on the situation regarding the spread of the new coronavirus infection, the programs may be subject to change. Please be sure to check the official website of Yebiso International Festival for Art and Alternative Visions (www.yebizo.com) before your visit.

本会場マップ Venue

東京都写真美術館 Tokyo Photographic Art Museum

- A** 3F・2F・B1F 展示室 **C** 2F ロビー
B 1F ホール **D** 1F スタジオ

東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Yebisu Garden Place, 1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo

日仏会館 Maison franco-japonaise [French-Japanese House]

- E** ギャラリー

東京都渋谷区恵比寿3-9-25
3-9-25 Ebisu, Shibuya-ku, Tokyo

G 恵比寿ガーデンプレイス センター広場
Center Square of Yebisu Garden Place

東京都渋谷区恵比寿4-20 恵比寿ガーデンプレイス内
Yebisu Garden Place, 4-20 Ebisu, Shibuya-ku, Tokyo

※諸般の事情により中止となりました。
ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

- F** 恵比寿地域文化施設およびギャラリーなど
Related cultural facilities, galleries, etc.



東京都写真美術館 展示室 Top Museum Exhibition
事前予約制について Reservation



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、東京都写真美術館の展示室への入場にはウェブサイトからの事前予約（無料）が必要です。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

事前予約サイト

 <https://www.e-tix.jp/yebizo>

 <https://www.e-tix.jp/yebizo/en>

予約受付開始日時:

☐ 令和3年 2月 5日(金)~2月12日(金) 入場分:

令和3年1月30日(土) 午前10時

☐ 令和3年 2月13日(土)~2月21日(日) 入場分:

令和3年2月6日(土) 午前10時

■予約方法

受付開始日時を確認の上、上記ウェブサイトより予約してください。

- ・予約は、原則オンラインのみとなっております。ただし、パソコンやスマートフォンなどをご利用でない方は、ご来館のうえ当館1階総合受付で申込みことが可能です。ただし定員満了の場合は予約が出来ない場合があります。予めご了承ください。
- ・予約券(QRコード)1枚につき1人1回のみ入場可能となります。
- ・入場予約は1時間ごとの日時指定制、観覧時間は2時間制です。
- ・1回の申込みにつき、2名様まで予約可能です。
- ・複数日および複数時間枠の予約は、出来るだけご遠慮ください。
- ・上映の有料チケットをお持ちの方も、展示室への入場には本予約券が必要です。
- ・案内ハガキをお持ちの方、プレスの方も予約をお願いいたします。
- ・恵比寿映像祭期間中、団体のお客様は受け付けておりません。

■入場方法

- ・予約時に入手した専用のQRコード(スマートフォンもしくはプリントした紙)を、東京都写真美術館1階エレベーター前のゲートにてご提示願います。
- ・予約時間に観覧可能なチケットです。
- ・予約時間帯内では、再入場が可能です。
- ・入場の際は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力ください。

上映プログラム Screenings

チケット販売について Ticket Information



上映プログラム入場については、有料チケットが必要です。

※各プログラムの日時は、タイムテーブルをご確認ください。

上映 1回券 ￥550円[前売] | ￥1,100円[当日]

会場:東京都写真美術館1Fホール/定員:95名

日時指定/各回開演15分前開場予定/整理番号順入場/入替制

※上映は全席自由席です。前売券および当日券に記載された入場整理番号順のご入場になります。

※すべての上映・イベントを未就学児同伴可としています。(座席が必要な場合はチケット購入が必要になります。)

☐ 当日券

上映の当日券は、各日午前10時より東京都写真美術館1F受付にて先着順で販売します。前売券が売切れの場合、当日券の販売はございませんのでご了承ください。

☐ 前売券【Pコード:763-402】

前売券はチケットぴあで販売しています。

一般発売開始:令和3年1月30日(土) 午前10時

・前売券は、各プログラム開催前日の正午まで販売します。

■前売券(チケットぴあ)購入方法

①インターネット: (<https://pia.jp/t/yebizo>)

②電話予約:0570-02-9999

(<https://t.pia.jp/guide/orderbyphone.jsp>)

③お近くの店舗直接申込み:チケットぴあ、セブン-イレブン

※②および③の方法でご購入の際には、6ケタのPコードが必要になります。

※購入方法によってチケット代金以外に別途手数料(システム利用料、店頭引取利用料、発券手数料、ほか)がかかります。詳細はチケットぴあのウェブサイトを参照ください。

<https://t.pia.jp/guide/charge.jsp> (インターネット)

<https://t.pia.jp/guide/orderbyphone.jsp#charge> (電話)

<https://t.pia.jp/guide/retail.jsp> (店頭)

<https://t.pia.jp/guide/delivery.jsp> (チケット引取方法)

[主催] 東京都/公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館・アーツカウンシル東京/日本経済新聞社

[共催] サッポロ不動産開発株式会社/公益財団法人日仏会館 [後援] 米国大使館/駐日韓国大使館 韓国文化院/ TBS/ J-WAVE 81.3FM

[協賛] サッポロビール株式会社 [協力] avatarin株式会社/ANA

恵比寿映像祭

お問い合わせ | Contact

東京都写真美術館 〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 Tel. 03-3280-0099

Tokyo Photographic Art Museum Yebisu Garden Place, 1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153-0062 Tel.03-3280-0099

www.topmuseum.jp

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM